

平成23年度 事業報告

社会福祉法人 国立保育会

国 立 保 育 園

平成23年度事業報告

新保育所保育指針の内実化に向けての取り組みを行った。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

全園児数は1年を通じ107名だった。

クラス名	年齢	保育士数	園児定数	備 考
青組	5才	2	22	主任保育士 1
緑組	4才	2	23	障害児担当保育士 1
橙組	3才	2	20	パート保育士 3
桃組	2才	3	19	延長保育士 1
赤組	1才	3	13	フリー保育士 2
ひよこ組	0才	3	9	看護師 1
合 計		115	107	

イ 月別保育予日数

保育予定日数295日保育を実施した。

ウ 健康管理

全園児の健康診断を4月22日と10月28日に実施した。

0歳児健診を4/22、5/20、6/24、7/22、8/26、9/30、10/28、
11/25、12/16、1/27、2/17、3/23の12回実施した。

1歳児健診を4/22、7/22、10/28、1/27の4回実施した。

歯科検診を6月30日に実施した。

耳鼻科検診を6月15日に実施した。

眼科検診を6月1日に実施した。

歯科講話を11月24日に歯科医師と歯科衛生士により実施した。

口腔衛生指導を歯科衛生士により7月15日と11月29日に、2月15日は
年長児に実施した。

尿検査を5月11日に実施した。

ぎょう虫検査を5月11日に実施した。

身体測定を毎月 1 回実施した。

健（検）診について計画通りすべて実施した。

健（検）診のお知らせを事前に配布し、結果については「お知らせボード」に記載するとともに健康手帳に記録した。

看護師による「頭じらみ検査」や歯のブラッシング練習、うがい練習等を実施した。

新型インフルエンザの流行に対し、感染の拡大防止に努め、適切に対処した。日々、「お知らせボード」や玄関掲示板に貼りだして保護者に注意を喚起するとともに情報の迅速な周知に努めた。

園児の体力作りの一環として幼児クラスは外部講師による体育指導を毎週金曜日の午前に実施している。園児たちもとても楽しみにしている。

エ 保育内容について

園の保育理念園である「かけがいのない命をはぐくむ場」、保育方針として「心身の健全で調和のとれた育成に努力し、豊かな人間性を持つ子どもを育て、将来において親と子の真の幸福を期待することを目標とする」保育目標として

- ・ 友だちをたいせつにできる子ども
- ・ 生き生きとした子ども
- ・ 健康で心豊かな子ども

を掲げており、その実現のために保育計画を作成し達成に努めた。

- ・ 「保育方針」について第三者評価を受診したところ、抽象的で分かりにくいとの指摘があったので、職員で検討を重ね「たくさんの経験を通して考える力をはぐくむ」と変更した

主な行事は下記のとおりである。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 4 月 4 日 | 入園式・始業式 |
| 1 4 日 | こいのぼり掲揚式 |
| 5 月 1 2 日 | 誕生会 |
| 1 8 日 | 年長児遠足（多摩動物公園） |
| 2 5 日 | 3．4 歳児遠足（立川防災館） |
| 6 月 2 日 | 時の記念日集会 |
| 6 日 | 人形劇団公演（ホール、地域の方も観劇した） |
| 2 0 日～2 4 日 | 保育参観・懇談会 |
| 7 月 1 日～8/22 | プール遊び |
| 1 日～2 日 | お泊まり保育（年長児） |

7日	誕生会
14日	食育集会
9月2日	災害時引き渡し訓練
15日	誕生会
10月8日	運動会
25日	秋の遠足、2歳児～5歳児（昭和記念公園）
11月8日	魚の解体ショー
10日	誕生会
17日	勤労感謝の集い
12月10日	お遊戯会
15日	クリスマス会
1月12日	もちつき大会
27日	おわかれ遠足（東京ディズニーランド）
2月3日	豆まき
7日	お店屋さんごっこ
9日	誕生会
14日	いも煮会
20日～25日	クラス別保護者懇談会
3月1日	ひなまつり会
8日	お別れ会
20日	第54回卒園式

オ 栄養管理（食育活動）

栄養報告、献立表、給食提供に関する諸管理を計画通りに実施した。

アレルギー児用献立表を別に作成し該当の保護者に毎月配布した。

11月8日、食育集会を実施し、出入りの魚屋さんに鰯の解体ショーをしていただき、「いのちをいただく」ことについて栄養士から話をした。

幼児3クラスは園庭やプランターを利用し、キュウリ、ナス、ピーマンを栽培した。

毎月、保護者に「給食だより」を配布し食育についての啓蒙に役立てた。

毎月、給食委員会を開き園長、主任、栄養士、保育士が出席し献立について反省、検討をした。

新入園児説明会、保護者懇談会に栄養士も出席し保護者の意見を取り入れよう努めた。

法人内三園合同の栄養士会を4回開催し、情報交換と食育への取り組みについて強化した。

毎月、法人内三園の給食献立と「給食だより」を検討した。

カ 安全管理

6月11日、立川消防署員に来ていただき心肺蘇生講習会を職員に実施

6月9日、立川警察署員による交通安全教室を実施

砂場は毎週1回掘り起こし、紫外線に当てた。

学校110番点検、防災無線点検、防火装置点検を業者に依頼し実施した。

「建物、および消防自主点検表」に基づき、日々、チェックした。

お泊まり保育の夜間対応として警備会社の警備員を配置した。

ボイラーの定期点検を（ユアテック）により実施。

10月24日屋上に設置してあるガスヒーポンを業者に依頼し点検をした。

各クラス、給食室、ホール等のエアコンの清掃・点検を業者に依頼して実施した。

給食室の清掃を業者に依頼して実施した。

多摩・立川保健所による栄養士・調理士の手指の衛生検査を実施した。

新型インフルエンザの感染予防に玄関、各クラス入口、給食室、事務室等に消毒液を配置し感染拡大に備えた。

（２）職員の処遇

ア 職員構成は上記のとおりである。

イ 健康管理

全職員の健康診断を実施した。

毎月、職員の検便を実施した（検査機関は株式会社立川臨床医学研究所）

ウ 職員会議

毎月定例で実施し、年間12回。

職員会議開催日の午前中に、園長副園長主任副主任により幹部会を開き、園児、職員の状況について共有した。

期別会議を4月4日、1月10日、3月19日の3回実施した。

リーダー会議、フロアー会議、行事打ち合わせを必要に応じ適宜開催した。

新たに、カリキュラム会議を毎月開催し、保育内容の見直し・検討を実施した。

エ 研修計画

園 長 立川労働基準監督署主催の社会福祉施設等災害防止講習会

東京都主催の保育行政及び指導検査講習会

副園長 東京都主催の就学前教育カリキュラム説明会

パソコン講習会

東京都民間保育園協会主催の保育現場のメンタルヘルス講習会

主 任 パソコン講習会

副主任 日本保育協会主催の保育所主任保育士研修（3日連続）

保育士	中堅保育士2名を東京都福祉保健局主催の社会福祉施設従事者人権研修、親へのサポート、発達障害、絵画指導、運動会の実技、こどもの育ち、子どもの心理など実務的実践的な研修・講習に出席。
看護師	福祉保健局主催の母子保健研修、保健所主催のアレルギー疾患をもつお子様への緊急時対応、ぜん息食物アレルギー緊急時対応、日保協主催の保育所事故予防研修会、福祉保健局主催の小さなこどもを亡くした家族への支援、保健所主催の小規模プール管理講習会、福祉保健局主催の口腔機能の発達と歯科保健、同じく感染症ネットワーク研修等
栄養士	保健所主催の栄養管理講習会、東社協主催の給食担当者講習会、東社協主催の子どもの免疫力研修、東社協主催の、食物アレルギーへの保育所での対応、都民保協主催の色々な園のおやつ、保健所主催の食物アレルギー防止対策研修会等に参加。

- ・ 研修・講習に参加した職員は報告書を提出するとともに研修報告会を実施し共有化を図った。
 - ・ 国立市私立保育園主任会主催の研修に小児神経科医、篠崎昌子Drを招き、「気になる子どもへの理解と対応パートⅡ」についての講演に17名が参加した。
 - ・ 法人内三園合同の主任会、栄養士・調理士会、看護師会を定期的開催し情報の共有化と技術の向上に努めた。
- ＜法人主催研修＞
- ・ 全保育士が法人内三園の同年齢児担当保育士が他園で一日実務研修を実施。
 - ・ 法人理事である、岡崎光子女子栄養大学教授による「放射能から身を守る食事」の研修を実施した。

オ 人材育成

○J Tを実施し、人材育成の一助とした。

自己評価制度を取り入れ、職務の遂行状況と見直しをした。

自己申告制度を実施し、意識の高揚を図った。

カ 福利厚生

職員の親睦と融和を図ることを目的に食事会、歓送迎会への補助をした。

退職職員の事務手続きを速やかに実施した。

給食室の栄養士、調理士にエプロン、上衣を新たに貸与した。

保育士にエプロンを貸与した。

2. 施設管理

(1) 事務関係

会計事務、管理事務、児童処遇事務を適切に行った。

会計事務、社会保険事務を契約事業者と連携し速やかな事務の遂行に努めた。

(2) 設備関係

1階幼児3クラスの床の張り替え

ホールの蛍光灯安定器を交換しLEDにした

大地震で非常階段下の着地面に亀裂が入ったので修復工事をした

ダムウエーターの索錠交換

2階テラスの減熱塗装工事

園庭樹木の剪定、

(3) 備品関係

食育の充実のため調理機器・食器を大幅に入れ替えた、調理・配膳台、フードプロセッサー、配膳用ワゴン車、給食室用パソコンプリンタ、各クラスへ遊具の充実、

おさんぽ車1台、加湿消臭器の設置2器、消化器1本交換、幼児3クラスと職員用傘立て、大型掃除機1台、給食室に下駄箱設置、パソコン2台、デジカメ用プリンター2台、

(4) 財務関係

予算の執行については毎月の運営会議、16回開催した理事会等で進捗状況を詳細に検討し、適切な運営・処理に努めた。

別紙、決算書参照

(5) 災害対策

ア 避難訓練 地震想定を6月16日、8月26日、9月2日、12月19日、2月3日の5回実施した。

火災・消火訓練を4月18日、5月24日、7月19日、10月24日、
11月22日、1月23日、3月19日の7回実施した。

不審者対応訓練を1月17日に実施した。

災害時引き渡し訓練を9月2日に実施した。

避難訓練、消火訓練等を実施後は速やかに立川消防署国立出張所へ「自衛消防訓練通知書」をFAX送信した。

イ 防災設備の点検を千代田防災に委嘱し2回実施した（9月4日、3月23日）。

ウ 防災自主点検を月1回実施した。

エ 非常時に備え、新たに保存用飲料水、ハンドマイク、大型懐中電灯、ランタン、電

池、ラジオ、グランドピアノ転倒防止具等を備えた
オ 非常灯の検査を6月9日（株）松本設計に依頼して実施した。

3. 地域社会との連携

ア 地域交流、子育て支援

- ・老人福祉施設サニーライフとの交流を実施した。
園児がサニーライフへ伺ったり、入所者が園においでいただき運動会の予行練習の見学やお遊戯会の見学等交流を深めた。年間10回。
- ・出前保育の実施 北第一公園を利用して公園に遊びに来ているお子さんとエプロンシアター、大型紙芝居、協同遊びなどを行った。
4月20日、5月31日、6月28日、10月13日、11月9日、12月14日の6回実施した。
- ・異年令交流
国立市立第四小低学年児童の受け入れを6月3日に実施した。
国立市立第四小学校を年長児が2月10日に訪問した。
国立市北学童を年長児が3月7日に訪問した。
- ・保育所体験を5回実施した。
- ・小中高生の育児体験受け入れ（中学生・高校生ボランティア受け入れ）
14人延べ33日間実施した。
- ・子育てサークル支援
5月21日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日、2月18日、3月10日の7回実施した。
- ・子育て情報誌「わくわくつうしん」「おおきくなあれ」をほぼ月1回、計12回発行した。
- ・地域の方へ毎週水曜日に園庭を開放した。
- ・人形劇団を呼び地域の方へも開放した。

イ 児童虐待への対応

児童虐待については法人独自の職員研修会を実施するなど、その早期発見に力を入れて取り組んでいるところである。園長が非常勤を含む新規採用職員へ研修を行った。また、気になる園児が複数存在することから、東京都立川児童相談所、東京都小平児童相談所や、国立市及び国分寺市の子ども家庭支援センタとの密接な連携をとり、事故の未然防止に努めている。次年度も引き続き早期発見、早期対応を心掛ける。

4. その他

ア 個人情報の保護について

個人情報管理規定を職員に周知徹底し、適切に取り扱った。

個人情報等の流失防止と安全対策のため、データーサーバーを設置した。

イ ホームページを大幅にリニューアル

内容を日々更新し、携帯からも見られるようにして保護者への迅速な情報提供に努めた。

ウ 東京都福祉サービス第三者評価を受診した。

保護者から寄せられた意見・要望については、改善した内容や取り組み中の事項について「おしらせ」を配布した。

エ 保育所保育指導要録を各小学校（10校）へ送付した。

オ 大学、短大、専門学校の保育実習を受け入れた。

以 上

平成 23 年度 事業報告書

社会福祉法人 国立保育会

北 保 育 園

平成 23 年度は、社会福祉法人 国立保育会 北保育園として法人運営となり、施設の改善、新しい環境の中で保育に取り組むことが出来た。総合遊具の設置・芝生化の園庭・自園での運動会、児童の処遇には変わりなく、園庭解放や子育て支援の一環として保護者各年齢の個人面談を行い保護者との交流の充実を図り、地域の方々とのふれあいの機会を積極的に増やした。

職員配置に対しては、年間通して、非常勤職員の確保が困難で充足できず今後も懸念される課題としています。

園児定員の 69 名とし、一時保育の定員の 7 名を 10 名に増員、保護者から信頼される保育園をめざし保育園改革に取り組み「保護者に選択される保育園」にむかって保育にあたりました。

本年度、平成 24 年 3 月 23 日 12 名の卒園児を送り出すことができました。

<1 施設運営>

児童の入所状況

定員 69 名のところ 7 月に被災地より転居された児童を受け入れ、83 名という児童数で年度末を終了することができた。

ア、児童の処遇

・クラス

待機児解消のために、乳児クラスの児童数が多く、保護者の方から不安な姿を伝えられる事もあったが各園での対応であることを伝え理解を得る。

イ、月別状況

・特に長期の欠席児童なし

ウ、健康管理

全園児・内科健診・4 月 15 日（金）・10 月 14 日（金）

0 歳児・5 月 27 日（金）・6 月 24 日（金）・7 月 22 日（金）・8 月 26 日（金）

9 月 30 日（金）・11 月 25 日（金）・12 月 16 日（金）・1 月 27 日（金）

2 月 17 日（金）・3 月 23 日（金）

1 歳児・4 月・7 月・10 月・1 月に行う。

ギョウ虫卵検査・5 月 11・12 日 尿検査・5 月 12 日（木）

眼科検診・5 月 18 日（水）

耳鼻科検診・6 月 1 日（水）

歯科検診・6 月 16 日（木）

幼児ブラッシング・6 月 10 日（金）

歯科講話・11 月 17 日（木）

卒園児ブラッシング・3 月 8 日（水）

エ、保育課程

保育課程の見直しを各年齢毎に、リーダー会議で行い、各自職員より内容を項目毎話し合い、検討し、今年度を反省し、次年度に向けて全職員で考え検討して作成する。

（主な行事）

毎月の誕生会・・・予定通り施行（保護者の参加多数）

毎月避難訓練・・・防犯（9 月） 消火（8 月・2 月）

交通安全指導・・・5 月 16 日（月） 2 月 27 日（月）

ミニ遠足・・・5月20日（金） 9月13日（火） 11月1日（火） ※9月は園で会食

遠足・・・春は雨天の為場所変更（6月ひかりプラザに行く）

秋は10月21日（金）国営昭和記念公園・・・2歳児には無理が見られた。

保護者参観、懇談会・・・6月20日（月）～6月24日（金）

プール開き・・・7月1日（金） プール納め・8月26日（金）

ひまわり組お泊り保育・・・7月1日（金）～7月2日（土）

災害時引き渡し訓練・・・9月2日（金）

秋祭り・・・9月3日（土）

敬老の集い・・・9月8日（木）

運動会・・・10月15日（土）雨天の為10月22日（土）※次の（土）も雨天の為、延期
全クラス個人面談・・・10月24日（月）～10月28日（金）

おたのしみ会・・・12月10日（土）

クリスマス会・・・会食 12月21日（水）

もちつき会・・・1月13日（金） ※地域との交流（みどり会）

ひまわり組個人面談・・・1月16日（月）～1月20日（金）

節分豆まき・・・2月3日（金）

4歳児～0歳児保護者会・2月13日（月）～2月17日（金）

お別れ遠足・・・2月22日（水）※丸の内公園内科学技術館

新入園児説明会・・・3月3日（土）

お別れ会食会・・・3月13日（火）

卒園式・・・3月23日（金）※卒園児保護者のみ参加（二部形式にて実施）

オ、栄養管理

乳幼児期の食事の大切さ、発育を保障する栄養源であり、食生活のあり方に重要な役割を果たすことを考え、安全な良い食材、基本的に食品添加物及び化学調味料等の使用を極力控えた食事を提供した。0歳児クラスでは、毎月離乳食会議を行い、献立会議では、毎月の子どもたちの食事などに対しての状況報告、改善してほしい点、又、子どもの摂食時状況を伝えあい食事を提供した。

- ・食事のサンプルを玄関前に展示する。
- ・アレルギー食事の配慮・一時保育クラスの対応も考慮する。

カ、安全管理

『職員は日々の保育の中で、乳幼児の生命を危険から守ることを第一の目的とする。玄関の施錠状況などを保護者に知らせ理解と徹底を図り安全確保を徹底する。』を目指していましたが・・・

平成23年9月22日（木）午後6時7分ごろ都営住宅11号棟7階階段付近より落下物があり、送迎中の保護者の上腕側面にあたる【打撲】という事故があり残念です。即、警備員を配置、平成24年3月31日まで施行。

結果などはいまだ未解決の状況。更に安全確保の徹底を行う。

- ・毎月、遊具・室内のチェックリストを担当者が行う。
- ・防災・防犯訓練を年2回行い、職員にも教育を行う。
- ・遊具の使い方にも周知徹底し指導をする。

<2 職員の処遇>

ア、職員構成

①職員体制は、施設長はじめ保育士クラス担任全員有資格者を持って充てていく。

②保育士は、他の社会福祉施設などとの併任兼務を認めない。

※ 看護師の勤務が家族の介護や子どもの看護・本人の体調不良という状況で、職場にかなりの支障がでた。

※ 時短の利用者が保育士に 2 名・栄養士・保育士に育児休業者があり、延長保育時間の非常勤職員が年間充足できず全職員に負担がかかる状況でした。

イ、健康管理

日々の保護者の委託を受け、園児を健やかに保育するためには、その保育に関わる職員は心身ともに健康でなければならない。

※全員健康診断受診する。

ウ、職員会議

※23 年度は、保育に関わる会議の確認事項が多く、必ずクラスから 1 名は参加して充実感があり保育課程が充実した。自分たちの意見が保育に表現されることが期待できる。

エ、自己評価

※自己申告書に基づき、業務の振り返りが出来ました。

※個人面談を行いました。(6 月上旬・2 月に行う)・個人の思いが理解できました。

オ、自己申告制度

※適切な能力向上策の実施や人事管理を行う・・・というのは大変難しいです。個性も大切にしたいと感じるところもある。職務能率増進を図るには必要でしょう。

カ、OJT の実施

※時間が不足して十分とは言えないが、努力はしました。今後も継続していく必要がある。

キ、新規職員の技術の習得と向上を目指す

※新人だから複数担任でなければならないということはない。面接時にも積極的にどの年齢でも取り組めるという気持ちを伝えて良いと思う。自覚を持たせる。

※有期・無期というイメージが良いのか、悪いのか。

ク、研修計画

※計画通りに実施されれば良いと思いますが、人事的に保育の保障も必要です。

ケ、退職・福利厚生

※健康であれば希望する職員の継続雇用は良いと考えます。

※問題を繰り返す場合には、はっきりと伝えなければ周囲の方の疲労度を増すのみ、子どもたちには一緒に活動できる人材が大切なのです。

<3 施設管理>

(1) 事務関係

ア、 会計事務、管理事務

予算計画書に応じて事務処理を行った

イ、 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

児童処遇は、保育課程、給食献立、年間の健康診断予定等により、適切に行った

(2) 設備関係

ア、 固定遊具の設備点検

毎日点検し、安全に使用できるようメンテナンスを行った

園庭総合遊具（すべり台、うんてい）の増設

イ、 調理室設備、空調関係、防犯防火関係等

定期的検査、点検が必要なものは業者に委託した（消火器・火災報知機・エアコン・電気関係・ガス関係）給食室の空調設備

ウ、 施設全体を常に点検し、修繕が必要と認められる箇所については修繕を行った

エ、 一時保育室に水道を増設

オ、 幼児クラストイレの便器増設

カ、 防犯カメラ増設（3台）、園舎周り照明増設

(3) 備品関係

ア、 備品購入品

（事務室・全職員用）

事務用椅子 7 脚、職員用ロッカー 2 台、防災用ヘルメット 5 個、ジャージ、白半袖 T シャツ、エプロン

（幼児クラス）

4,5 歳児机 6 台、タオルかけ 1 台、5 連ロッカー（4 台）、ハンガースタンド、ホワイトボード
3 歳児用防災頭巾

（乳児クラス）

0 歳児机、間仕切りゲート、引き出しロッカー、収納ロッカー、1 歳児ジョイントマット
新入園児布団、給食室、2 歳児用防災頭巾、ミルクウォーマー

（給食用）

調理用ユニフォーム、配膳ワゴン、フードプロセッサー、セイロ、鍋、五徳

（その他）

災害時用アルファ米、カンパン、スーパー保存水、クイックテント
保育材料（新年度用品）

(4) 災害対策

予定通り施行（避難訓練、消火訓練、防犯訓練、引き渡し訓練）

千代田防災と契約を結ぶ（H24.2～H27.2 末日）

防火管理者の変更（主任から園長に変更）

<4 地域社会との連携>

ア、 地域、子育て支援

予定通り実施する

（北在宅サービスセンター訪問・・・2月2歳児クラスは体調不良により、実施無し）

イ、 児童虐待への対応

職員の共通認識を図るが、事例はなかった

その他

ア、 個人情報保護

個人情報管理規定に基づき、個人情報の取り扱い方を全職員に周知する。

（非常勤職員、実習生も同様）

イ、 苦情対応

苦情対応受付窓口を設置しているが、利用者なし

ウ、 第三者評価

今年度は、利用者アンケートのみ実施

以上

平成23年度

事業報告

社会福祉法人 国立保育会

西国分寺保育園

西国分寺保育園 23 年度事業報告

23 年度は園児 122 名、13 時間保育、病後児保育事業、一時保育事業を実地した。
一時保育事業を国分寺市の補助事業とし地域の方の利用が増えた。

一人ひとりに丁寧な保育をこころがけ、利用者アンケートではその評価がされていた。
保護者の意見で、行事の日程の改善に務めた。その都度行事のあり方を保育園としてどう
進めているかの説明をする良い機会となった。

園庭の放射線濃度測定を国分寺市により定期的に測定し、保護者に伝えた。

1. 施設運営

(ア) 児童の処遇

① 定員とクラス編成

星組	月 1 組	月 2 組	虹 1 組	虹 2 組	風組	海組	空組
0 歳児	1 歳児	1 歳児	2 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
9 名	10 名	10 名	12 名	12 名	24 名	24 名	24 名
							合計 125 名

月別入所児童数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
122	122	121	122	122	122	122	122	122	122	122	121

入所児童数に下記のとおり変動があった。

クラス名	年齢	園児数	保育士数
空 組	5 才	4 月～5 月：21 名 6 月：20 名 7 月～3 月：21 名	2
海 組	4 才	4 月～3 月：24 名	1
風 組	3 才	4 月～3 月：24 名	2
虹 1 組	2 才	4 月～2 月：24 名 3 月：23 名	2
虹 2 組			2
月 1 組	1 才	4 月～3 月：20 名	2
月 2 組			2
星 組	0 才	4 月～3 月：9 名	3
			他 主任 1 副主任 2

② 月別保育予定日数と開所時間

事業計画どおりの保育日数で保育を実施、1 時間延長、2 時間延長保育も計画どおり実施した。

開所時間 1 3 時間

月別保育日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計 295 日
25	23	26	25	27	24	
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
25	24	23	23	24	26	

③ 健康管理

平成 23 年 保健行事実施日

■健康診断：

	H23									H24		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳	4/27	5/25	6/23	7/28	8/25	9/29	10/27	11/24	12/22	1/26	2/23	3/30
1 歳	4/27							11/24				
2 歳	4/27							11/24				
幼 児	4/27							11/24				

■布団乾燥：月 2 回実施

■歯科検診：9/8（全クラス）

■ぎょう虫検査：5/12（全クラス）※5/19 予備日

■尿検査：5/12（幼児クラスのみ）※5/19 検査予備日

■視力検査：

3 歳児	12/13
4 歳児	12/13
5 歳児	12/13

■身体測定：

	H23									H24		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	4/18	5/17	6/16	7/14	8/16	9/15	10/17	11/15	12/14	1/16	2/15	3/14
1歳	4/19	5/18	6/17	7/19	8/17	9/16	10/18	11/16	12/16	1/18	2/16	3/16
2歳	4/20	5/20	6/21	7/20	8/18	9/20	10/19	11/21	12/19	1/19	2/17	3/19
幼児	4/21	5/23	6/20	7/21	8/22	9/21	10/20	11/18	12/20	1/20	2/20	3/21

■歯磨き指導：

2歳児	H24.1/23
3歳児	H23.7/25
4歳児	H23.7.27
5歳児	H23.7.28□

■手洗い・うがい指導：

2歳児	手洗い指導：6/27 うがい指導：6/27
3歳児	6/22
4歳児	6/23
5歳児	6/24

■頭じらみ検査：

	H22			H23
0歳	6/29	8/31	11/25	2/1
1歳	6/29	8/31	11/25	2/1
2歳	6/29	8/31	11/25	2/1
3歳	6/30	8/30	11/28	2/2
4歳	6/30	8/30	11/28	2/2
5歳	6/30	8/30	11/28	2/2

	H23 年度保健業務の反省と今後の課題
I 期（4 月～6 月）	・春の内科検診 実施前に、担任、及び保護者より、身体的・心理的・発達面における相談の有無について確認し、園医に診断を依頼した。検診では 5 歳児において、心雑音が 2 名指摘され、保護者に継続的に観察していく必要性を伝えた。 ・ぎょう虫検査・尿検査 検査についてのスケジュールについては、保護者用のプリントを作成し事前に配布した。検体回収日に欠席した場合や、検体取り忘れなどのために 1 週間後に再提出日を設定し全員回収に努めた。ぎょう虫検査、尿検査ともに全員「異常なし」の結果であった。 ・頭しらみ検査 7 月のプール開始に伴い 6 月に実施した。検査日を乳児と幼児で分けて設定し、スムーズに実施することができた。全員「異常なし」であった。 ・手洗い・うがい指導 年齢に応じた指導内容であったか、園児の反応や理解度についてなど、事前に担任との打ち合わせが十分でなかった点が反省点としてあげられる。手洗いの指導については手の汚れを視覚的に確認できるブラックライトを用いた方法を来年度は取り入れていきたい。 次年度にむけて、手洗い・うがいの継続的な指導を日常保育の中でどのように継続的に取り入れていけるかが課題としてあげられる。クラス担任との連携により、さらに充実した衛生指導が臨まれる。
II 期（7 月～9 月）	・プール水質管理 7 月のプール開始前にプールの水質管理（主に塩素管理）についての方法を職員へ伝えたが、塩素管理の対応内容においては、「塩素濃度が十分でない」「水温調整が十分でない」など管理方法が徹底されていなかった点が反省点としてあげられる。来年度にむけては、分かりやすい簡単なマニュアルを作成し、看護師が対応できない場合でもスムーズに対応できる方法を考えていきたい。 ・感染症対策 6 月～7 月にかけて水痘の感染者が多くみられ、特に 3 歳児クラスにおける感染者は 6 月に 15 名であった。水痘における予防接種率は任意接種であるにもかかわらず、当園においては高く、感染者で重篤例はなかった。流行期については、症状出現後は、すみやかに受診を依頼し、感染拡大予防につとめた。また、6 月～8 月にかけては手足口病が流行した。特に、6 月においては 1 歳児クラスで 8 名、7 月においては 2 歳児クラス 9 名、3 歳児クラス 8 名と感染者の増加が認められた。流行期における保護者への正確な疾患に対する情報提供は玄関の掲示物で行い、重症例はなく経過した。 ・歯科検診 歯科検診の実施順番は 0 歳→1 歳→2 歳→幼児の順番で実施したが、乳児は 10 時のおや

	つの時間帯に検診時間が重なり考慮していく必要がある。また、歯科検診で指摘された疾患については、保護者に健康手帳で結果を報告する際に治療の必要性の有無についてもお伝えできるよう歯科医師と連携をとっていきたい。
Ⅲ期（10月～12月）	・視力測定検査 視力測定については、測定方法の理解のために事前に昼食前の時間を利用し、1～2日練習日を設けている。4歳、5歳においては昨年実施しているためその要領は理解しているが、3歳児クラスにおいては丁寧に測定方法を伝え、要領をつかみとる時間を十分に確保していく必要がある。今年度は4歳、5歳児においては1日間、3歳児においては2日間の練習期間を設け、測定検査にそなえスムーズに実施することができた。 ・職員のインフルエンザワクチン接種について 職員のインフルエンザワクチン接種の必要性和重要性を職員会議の際に伝え、ワクチン接種の向上につとめた。インフルエンザワクチンにアレルギーを持つ職員以外は、ほぼワクチン接種を実施することができた。流行期にそなえて11月頃よりワクチン接種ができる対応を今後の課題としたい。 ・空気清浄機の点検について 空気清浄機のフィルターの交換や具体的な掃除方法について職員に伝えた。インフルエンザの流行期における湿度管理にそなえて十分な点検が必要で、その必要性についても十分な理解のもと対応できていた。 ・秋の内科検診 春の内科検診同様、実施前に担任や保護者より身体的・心理的・発達における相談内容の有無について確認し、園医に診断を依頼した。検診では春の検診でも指摘された、5歳児（心雑音が2名）について看護師から情報を提供し診察を依頼した。就学前であり、今後はかかりつけ医での受診を定期的に行っていく必要性について指示があった。保護者へは看護師より直接その旨を伝え継続的な経過観察につなげることができた。
Ⅳ期（1月～3月）	・感染症対策 1月～3月にかけてインフルエンザの流行が認められた。特に2月においては1歳～5歳にかけて各クラス6～10名／月の感染者がみられた。重傷例はなく経過したが、インフルエンザの感染拡大予防策として有効と思われた点は、インフルエンザ流行期の乳児と幼児の接触を最大限に抑えた点である。乳児は感染の際に重症化しやすい点やRSウイルス感染症や肺炎などへの病状の移行など急速に進行することも念頭に入れこれらの対応は継続していきたい。 ・新入園児の面接 新入園児の面接日前に、平日の13:00～15:00を利用して面接を実施した件数が多かった。保健サイドの確認事項においては、特に食物アレルギーと予防接種については詳しく聴取し、集団生活における予防対応について個々に説明し、理解を求めた。はじめて保育園を利用される保護者への対応については十分な時間をとって今後の日常生活における不安要素を丁寧にききとり対応した。

	・感染症の年間集計 2011 年度 感染症の発生状況（月別）参照
--	-------------------------------------

④ 保 育

- ・各クラス、保育計画に基づき、指導計画を作成、計画に沿った保育を実践した。
- ・発達段階を踏まえて考えた行事活動を職員と話し合い進めることができた。

年間行事は予定通り実施することができた

4 月	1 日 4 日～ 5 月 3 1 日	入園式 全園児懇談会
5 月	1 1 日 1 3 日 1 9 日 2 7 日	誕生会（4、5 月生れ） ミニ遠足（4・5 歳児） 春の遠足 昭和記念公園（4、5 歳児） ミニ遠足（3 歳児）
6 月	6～10 日	保育参観ウイーク
7 月	1 日 6 日 14 日	プール開き 誕生会（6、7 月生まれ） スイカ割り
8 月		
9 月	2 日 7 日 14 日	全園児災害時園児引渡し訓練 誕生会（8、9 月生まれ） 空組 ニチイホーム訪問
10 月	1 日 13 日 19 日 18 日～22 日 21 日 29 日	運動会 ミニ遠足（3 歳児） ミニ遠足（4・5 歳児） 懇談会 秋の遠足 昭和記念公園（3 歳児） 秋の遠足 多摩動物公園（4、5 歳児）
11 月	7 日 9 日 17 日	交通安全指導（ヤマト運輸） 誕生会（10、11、12 月生れ） 勤労感謝の集い（西武鉄道）
12 月	3 日 7 日 15 日	発表会 大根堀り（5 歳児） クリスマス会
1 月	18 日	餅つき
2 月	3 日 8 日	豆まき 誕生会（1、2、3 月生れ）

3月	1日	卒園遠足（多摩六都科学館）
	15日	お別れ会
	26日	卒園式

体育指導（体育講師派遣：KKジャクパと契約）

4月	整列、挨拶、体操	12・19・26日
5月	マット運動	10・17・24・31日
6月	跳び箱	7・14・21・28日
7月	プール指導	5・12・19日
8月	プール指導	3・4・5・19・30日
9月	運動会練習	6・13・20・27日
10月	平均台運動	4・11・18・25日
11月	鉄棒運動	1・8・15・22・29日
12月	短縄運動	6・13・20日
1月	短縄運動	17・24・31日
2月	ボール運動	7・14・21・28日
3月	サーキット運動	6・13日

⑤ 栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告（5月・11月）
- ・ 子ども達の発育に必要な栄養のバランスを考えて献立作りをした。
- ・ 食材の産地を明確にし、出来るだけ国産の新鮮なものを使用するよう努めた。また、旬の食品を積極的に取り入れ季節感のある食事作りをした。
- ・ 半調理品や添加物の多いものを避け、手作りの安全な食事を心がけた。
- ・ 生活習慣予防のため、また素材の味を生かすためにも、塩分、糖분을控えた薄味にした。
- ・ 日本の食事の良さ、和食のおいしさを伝えるよう心がけた。
- ・ 衛生的な調理、盛りつけを行った。
- ・ 子ども一人一人に見合った量が食べられるようおかわりを用意した。
- ・ 誕生会のメニューを、行事食としていつもより手のこんだ献立に工夫した。
- ・ 毎月、全国各地の郷土料理を味わい、食体験の幅を広げることができた。
- ・ 献立に魚料理の回数を増やした。
- ・ 非常用に、備蓄食材を増やした。

・年間食育計画にそって園児、保護者、職員への食育指導を行った。

5/10 (虹組) 空豆の皮むき
 5/12 (空組) 野菜の苗植え きゅうり、すいか
 5/12 (海組) 野菜の苗植え 枝豆
 5/12 (風組) 野菜の苗植え なす
 5/16 (風組) 空豆の皮むき
 5/30 (空組) 空豆の皮むき
 6/9 (虹組) 空豆の皮むき
 6/21 (風組) いんげんのへた取り
 6/23 (空組) 野菜洗い
 6/23 (虹組) 空豆の皮むき
 6/27 (海組) 玉ねぎの皮むき、いんげんのへた取り、枝豆の収穫
 6/30 (虹組) とうもろこしの皮むき
 7/8 (風組) 枝豆の枝もぎ
 7/14 (空組) すいか割り
 7/14 (月組) とうもろこしの皮むき
 7/22 (空組) 枝豆の枝もぎ
 7/28 (海組) とうもろこしの皮むき
 8/8 (風組) とうもろこしの皮むき
 8/8 (空組) すいかの収穫
 8/19 (海組) 枝豆の枝もぎ
 8/22 (空組) とうもろこしの皮むき
 10/13 (虹組) 野菜スタンプ
 1/18 (全園児) もちつき

・各クラス年齢に応じた調理保育を計画し、実践した。

11/11 (空組) 豚汁
 11/16 (海組) おにぎり
 1/11 (海組) リボンサラダ
 1/26 (風組) すいとん
 2/15 (虹組) ピザ
 2/22 (空組) カレーライス

⑥ 安全管理

交通安全教育	11/7							
非常災害時の避難訓練	4/18	5/25	6/23	7/26	8/16	9/2	10/26	
	11/30	12/15	1/27	2/27	3/9			
災害時引渡し訓練	9/3							

消火訓練	10/14
防犯訓練	7/20 3/7

(イ) 職員の処遇

① 職員構成

園 長	1 名
副 園 長	1 名
主任保育士	1 名
保 育 士	4 月～9 月 30 名 10 月～3 月 29 名
	※他非常勤保育士 13 名
調 理 員	栄養士 3 名 調理師 2 名 (内パート 1 名)
看 護 師	2 名 (内病後児保育室 1 名)
嘱 託 医	1 名 (非常勤)
用務員	1 名

② 健康管理

健康診断	年 1 回	全員実施
細菌検査	月 1 回	全員実施

③ 職員会議

定例会	4/5 4/21 5/25 6/23 7/26 8/23 9/27 10/26 11/24 12/15 1/15 2/23 3/22
臨時職員会議	10/5 10/28 11/1 11/10 12/3
リーダー会議	6/10 8/4 10/17
フロアー会議	5/31 6/2 6/14 6/23 7/6 7/27 8/5 10/3 10/8 10/13 10/24 2/2
運営会議	4/6 5/10 6/8 7/2 8/3 9/3 10/5 11/16 12/7 1/10 2/1 3/7
看護師会議	国分寺市看護師会 5/9 7/4 9/5 11/7 1/16 3/5 三園合同看護師会 5/21 7/9 9/3 11/13 1/14
栄養士会議	7/15 11/22 2/10
主任会議	5/11 6/8 7/6 9/17 10/12 11/9 12/14 1/11 2/8

④ 研修

研 修 参 加 記 録

23年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
23. 5. 9	国分寺市看護職連絡会 主催 国分寺市福祉保健部健康推進課		看護師
			0
23. 5. 2 1	国立保育会法人看護師会 主催 国立保育会		看護師
			0
23. 5. 2 4	新任職員研修会 主催 東京都民間保育園協会		保育士
			6,300
23. 5. 2 5	栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
23. 5. 2 7	保育園・幼稚園歯科担当者研修会 主催 多摩立川保健所企画調整課		看護師
			0
23. 6. 1 4	栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		看護師
			0
23. 6. 1 4～6. 17	保育所乳児保育担当者研修会 主催 日本保育協会研修部		保育士
			47,000
23. 6. 1 7	運動会実技講習会 主催 日本幼年教育研究会		保育士
			2,500
23. 6. 2 1	給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会	調理師	
		0	
23. 6. 2 1	平成 23 年度小規模プール管理講習会 主催 多摩立川保健所	看護師	
		0	
23. 6. 2 2	発達障害のある子どもの理解と育ちへの 支援 主催 東京都社会福祉協議会	保育士	
		2,000	
23. 6. 2 4	中堅保育士向け研修会 主催 東京都民間保育協会	保育士	
		5,250	
23. 6. 3	気になる子どもの対応を考える研修会	保育士	

0	主催 東京都民間保育協会		3,150
23. 7. 4	国分寺市看護職連絡会		看護師
	主催 国分寺市福祉保健部健康推進課		0
23. 7. 9	国立保育会法人看護師会		看護師
	主催 国立保育会法人看護師会		0
23. 7. 12	平成 23 年度保育園ネットワーク連絡会世話人会		看護師
	主催 多摩立川保健所保健対策課		0

研 修 参 加 記 録

23 年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
23. 7. 1 9	子ども・家庭支援における地域支援の役割 主催 東京都福祉保健局		保育士
			0
23. 7. 2 1	栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
23. 7. 2 5	つながりダンス講習会 主催 株式会社音楽センター		保育士
			6,500
23. 8. 6	特別支援教育連携関係職員研修会 主催 子どもの発達センターつくしんぼ		保育士
			0
23. 8. 9	コロンビアサマースクール 主催 日本コロムビア株式会社		保育士
			4,000
23. 9. 5	看護師連絡会 主催 国分寺市・福祉保健部健康推進課		看護師
			0
23. 9. 7	栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
23. 9. 1 0	法人看護師会 主催 国立保育会法人看護師会		看護師
			0
23. 9. 1 3～9. 16	保育所初任保育所長研修会 主催 日本保育協会		保育士
			48,000
23. 9. 1	子どものアレルギー疾患に関する相談実		看護師

4	務研修 主催 東京都福祉保健財団		0
23. 9. 2 6	子どものアレルギー疾患に関する相談実 務研修 主催 東京都福祉保健財団		看護師 0
23. 9. 2 7～9. 29	保健所事故防止研修会 主催 日本保育協会		保育士 0
23. 10. 1 1	放射能に関する教員向け研修 主催 東京都社会保健局		保育士 0
23. 10. 1 3	東京都民間社会福祉施設、サービス推進費補助、申請事 務説明会 主催 東京都社会福祉協議会保育部会		保育士 0
23. 10. 1 8	給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会		栄養士 0
23. 10. 2 6	東京都民間保育園協会研修会 主催 東京都民間保育園協会		栄養士 5,250

研 修 参 加 記 録

23年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
23. 10. 2 8	保育現場のメンタルヘルス 主催 東京都民間保育協会		保育士 3,150
23. 11. 2	保育所保育実践研修会 主催 東京都民間保育協会		保育士 10,500×2
23. 11. 1 0	放射能から身を守る食事 主催 国立保育会		保育士・栄養士 0
23. 11. 1 4	パソコン体験スクール 主催 株式会社リコージャパン		保育士 0
23. 11. 1 7	私たちの食事展 主催 多摩立川保健所地区施設給食協議会		栄養士 0

23. 12. 5	質の良い保育は子どもの人生を変える 主催 東京都社会福祉協議会		保育士
			2,000
23. 12. 1 2	保育要録研修会 主催 東京都民間保育協会		保育士
			3,150
24. 1. 1 2	食物アレルギー防止対策研修会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
24. 1. 1 3	パソコン体験スクール 主催 株式会社リコージャパン		保育士
			0
24. 1. 1 7	食物アレルギー対策講習会 主催 東京都健康安全研究センター多摩支所		調理師
			0
24. 1. 1 8	給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会		栄養士
			0
24. 1. 2 3	栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
24. 1. 2 4	コーチング研修会 主催 東京都民間保育園協会		保育士
			3,150
24. 1. 2 5	食育シンポジウム 主催 農林水産省		保育士
			0
24. 1. 28	保育セミナー 主催 日本保育協会		保育士・栄養士
			0
24. 3. 2	職場のマナー講座 主催 BOB カレッジ		保育士
			0

研 修 参 加 記 録

23年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
24. 3. 5	国分寺市看護職連絡会 主催 国分寺市健康推進課		看護師
			0
24. 3. 5	国分寺市子ども福祉部保育課研修・子どもの行動を理解 するためには		保育士・看護 師

	主催 国分寺市子ども福祉部保育課		0
24.3.1 7	国立保育会 法人看護師会 主催 社会福祉法人国立保育会		看護師 0
24.3.2 3	職場のマナー講座 主催 BOB カレッジ		保育士 0

⑤ 退職・福利厚生

- ・定年退職後、65歳まで継続雇用をする
希望者なし
- ・退職金等については速やかに適切に事務手続きを行う
- ・平成23年度の退職者 安達実名美・清水美千代・大貫優理
- ・職員への給食を実施、職員、児童への食育に努める
園児と同じ食事をし、食育に努めた
- ・職員の親睦と融和をはかる
食事会や忘年会、歓送迎会費の一部を援助した

2 施設管理

(ア) 事務関係

① 会計事務、管理事務

適切に事務処理をした

② 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

保育指導計画、給食献立、年間の健康診断予定等により、適切に実施した。
必要に応じて関係機関に報告書を提出した。

(イ) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

- ・毎日点検し、記録した
- ・運動会当日、滑り台のスロープの部分を取り外したが、運動会終了後、取り付けを完了した（設置業者に依頼）

② 調理室設備、空調関係、防犯防火関係等

設備点検 6/25

ガス点検 6/28 2/28
電気設備点検 5/11 7/11 9/12 11/12 1/16 3/14
消防設備点検 5/20 12/2
ダムエーター点検 4/7 6/2 8/9 10/3 12/2 2/2
学校110番点検 6/20 9/9 12/6 2/24
厨房設備点検 4/2

③ 施設全体を常に点検し、修繕が必要と認められる箇所については、修繕を行う

【瑕疵担保分】

特になし

【追加工事分】

樹木消毒 5/21
調理室配膳台修理 6/4
保育室扇風機設置 6/4
病後児階段下倉庫撤去 6/18
給湯器修理 7/6
2階テラス水道修理 7/22
調理室水道修理 7/25
玄関電気錠修理 9/15
園庭スピーカー交換 9/29
砂場抗菌砂入れ 9/30
病後児した門扉スロープ化工事 10/21～11/14
2階廊下サッシ修理 11/10
玄関外灯設置 1/31
エスコ水道配管工事 2/11
ICカード用の電気配線工事 3/10

(ウ) 備品関係

① 備品購入

事務用品は必要に応じ随時購入した

② 保育用品購入

乳児用プール・玩具・その他必要な保育材料等を随時購入した。

③ 給食用品購入

アレルギー児のための食器等を購入

(エ) 災害対策

- ① 避難訓練 月 1 回実施した
 - ② 防災設備の点検を委託した
 - ③ 防災設備自主点検をし、記録した
 - ④ 非常食料の備蓄
 (全児童数+全職員数) × 3 食 × (1 日~3 日) 分 毎月 1 回点検し、記録した
 (全児童数+全職員数) × 3 食 × (1 日~3 日) 分を追加購入
 - ⑤ 防災、防犯訓練計画に沿って職員が連携出来るよう避難訓練記録を作成、職員会等で話しあった
- 充電式ラジオ購入 LED 懐中電氣購入

3 地域支援、地域交流

- ① 地域交流、子育て支援
 - 行事への参加、協力の呼びかけ 2 回
 - 小学校との交流、連携 1 回 国分寺市立第 5 小学校見学と交流
 - 子育て支援を積極的に行う
 - パートナー登録 94 名
 - 育児相談 0 回
 - 園庭開放 月 2 回実施
 - サークル活動支援 0 回
 - 情報誌の発行 10 回
 - 出前保育 6 回
 - 保育所体験 56 名
 - 保育実習 6 名
 - 職場体験 8 日
- ② 児童虐待への対応

・職員全員が児童虐待への対応の基本を学ぶ

4. 病後児保育（補助事業）

病後児保育室の保育時間が 8 : 00 から 17 : 30 と長く、延長 1 時間を含めると 18 : 30 までの保育となるため、朝は在園児の健康管理をする看護師が受け入れをし、9 : 30 から病後児室の看護師に引き継ぐことにした。

23 年度利用延べ人数 337 人

5. 延長保育事業

1 時間延長 18 : 00 ~ 19 : 00 満 1 歳以上
 緊急利用を含め、平日は 55 名余りが利用している

2時間延長 18:00 ~ 20:00 満2歳以上
緊急時を含め、平日10名余りである

6. 一時保育（自主事業）

就労、リフレッシュ、私的な用事で一日とか半日の利用があった
平成23年度利用延べ人数 353人

7. その他

ア 個人情報保護

個人情報管理規程に基づき、個人情報の取り扱い方を職員全員に周知徹底している

職員、非常勤職員については個人情報保護についての誓約書の提出が義務付けられている。職場体験の高校生はオリエンテーションのときに個人情報保護についての説明をした。

イ 苦情対応

苦情受付窓口を設置、ご意見、ご要望があった時はその都度対応し、掲示した。受け付けた苦情については、必要に応じてその経過をホームページで公開している。

苦情対応責任者 園長

苦情対応担当者 主任保育士

第三者委員 2人

ウ 第三者評価

利用者アンケートを実施

株式会社 NPO法人ほいくORG8/26 契約書を取交

12/6 調査票の配布

2/3 調査票の結果報告日

2/3 調査検査報告書 調査対象者数 101名

有効回答者数 57名

利用者総数に対する回答者割合 56.4%

総合満足度調査 大変満足 26%

満足 51%

どちらともいえない 14%

不満 5%

大変不満 4%

以上